

治療した部位と治療方法

1 問診診察結果 (ポリス ラジコンカー)

- (1) 車のほうが全く動かない (図-1)
- (2) コントローラーから電波は発信している
- (3) コントローラーの方向を操作するレバーが根本から折れている。(図-2)
- (4) 赤の警告灯左側が破損している。(図-3)



図-1 左前足骨折



図-2 応急手当の跡



図-3 不適合ボンド

2 治療の方法

- (1) 分解して内部を点検し、視認では悪いところは無さそうなのに、と思い組立てている内に警告灯が点灯した。
- (2) コントローラーを操作すると、モーターは回転しているが、全身後退の時に「ガガッ・・・」と言う音が出て、前進後退がとまる。
- (3) エンジンルームを診察すると、図-4 の状態だった。これが原因だと分かった。



図-4 歯車のかかりが僅かしかない



図-5 黄色の黒のマジック印までギア移動

- (4) 図-5 の黄色のマジック印まで歯車を移動させたいが、ちょっとやさっとでは動かない。困った。下手をすると歯車を割ってしまう。どうしようか・・・？
- (5) 考えたのが、図-6・7 のような廃品利用の工具だ。
これは、折りたたみ式のある生活家具の部品で、プラスチック系の材質であるが、正式名は分からない。何かに利用できそうだと思い残しておいたものです。
外形 6. 8mm ・ 穴の直径 3.5mm 位の棒状のものを適当な長さに加工したものです。
- (6) この工具を図-5 の左から差し込み、立てて上から叩き黄色のマジック印まで移動させた。



図-6 棒状側面



図-7 真上からみた穴

- (7) そして、出来上がった姿が、図-8の歯車の位置である。
これにより、「ガガッ・・・」と言うようなことも無くなり、スムーズに回転しました。



図-8 移動させた歯車



図-9 治療後の警告灯

- (8) 図-9は、応急的に、クリアホルダーの切れ端加工で作成した警告灯カバーである。



図-10 竹でレバー



図-11 ネジ止め



図-12 左レバー竹製



図-13 右ネジ頭が見える

- (9) 方向操作レバーは、竹を削り、穴をあけ、ネジで固定して、塗料を塗って完成した。

3 ドクターからのアドバイス

- 歯車が、自然に移動したのだろうか？ 移動させるのに簡単ではなかった。
- ◎ 操作レバーは、力を入れ過ぎないように注意しましょう。軽く動きますから・・・

お渡し予定日：平成29年04月09日
担当ドクター：谷 春 雄